

いわきを遊ぶ!

— 27 —

■掲載は旧14市町村の五十音順

旧四倉町(下) Ⅱ 漁業・観光編



出航前の北洋船団が並ぶ、昭和43年ごろの四倉漁港＝小宅幸一さん提供

新舞子・横川で貸しポートを
楽しむ人たち Ⅱ 昭和四十八年、
いわき市提供



古くから漁業が盛んだった

四倉は、江戸時代には宿場町としても繁栄。宿場機能は明治期に失われたものの、漁業は発展を続けていった。

「漁師等が、さながら男性的そのものの如き真黒な赤銅色の体を光らせ（中略）掛声勇ましく小舟に打乗り漁に出かける」

昭和三（一九二八）年発行の『磐城海岸海水浴場案内』に掲載された四倉の記述。当時は漁師が千人ほどおり、うち約三百人は千葉や茨城方面から雇われていた。

四倉漁港は同七年から二十五年にかけて本格的に整備が行われ、漁業の発展を促した。漁場は沖合から遠洋へ広がり、北洋漁業やサンマ漁業などの船数十隻が出漁するほど活況。

「見送りは華やか」

この間の同三十年、四倉町、大浦村、大野村が合併し「旧四倉町」が誕生。漁業の隆盛とともに町にも活気が満ちた。

北洋漁業は夏から秋の三ヶ月間にわたり、出港前には、船乗りが商店街で米や酒などを買いだめするのがおなじみ。

四倉町六丁目、菓子店「豊田屋」の三代目、馬目寛之さん（八一）は「せんべいや、あめなどを缶に詰めて売りました。小学生のころは、よく出港の見送りに行ったものです。大漁旗がなびき、紙テー

昭和五十二（一九七七）年、他の経済水域を設定したた「漁業大国」日本は大きな転換を迫られていた。米国や旧ソ連などが二百海里水域（排撃を受けた）

北洋漁業で町に活気 海岸一帯は、「白砂青松」

いわき市

1966（昭和41）年10月1日、5市4町5村が大同合併して誕生。64年3月に常磐・郡山地区が「新産業都市」に認定されるまで、各市町村が協議会を設立して活動したことが契機となった。面積は1,232km²で、市としては2003年まで国内最大、県内の約9%を占める。工業出荷額は例年、東北で1、2を争う。人口は令和8年2月1日現在、31万2,315人。1997年に中核市指定



地域の復興拠点としても歩んできた道の駅よつくら港

四倉海岸を俯瞰すると、北方の波立海岸から四倉・蟹洗海岸までは「磯浜」、ここから南方の沼之内までは「砂浜」に分けられる。

四倉漁港は当初、蟹洗海岸南側の砂浜に設けられたが、漁業が盛んになるにつれて磯浜と砂

合併前夜——旧四倉町

（出典・市資料などから）

浦が投げられ、華やかでしたよ」と懐かしむ。

最も豊漁だった船乗りは、赤い鉢巻きを締めて帰港した

バブル前には、海に面した県道豊間四倉線沿いに喫茶店やレストランが立ち並び、若者たちのドライブやデートのスポットになっていた。一時、車内から映画を観る「ドライブインシアター」も登場。

明治三十六（一九〇三）年に開設された四倉海水浴場は築港などによって移設を繰り返すが、「郵便絵はがき」に

浜を組み合わせて築港が進み、漁港区が拡張。海岸も埋め立て

地元は「ガニアラエ」

られ、魚市場などの施設が設置されていた。

ところで、「蟹洗」は地元で「ガ

ニアラエ」と呼ばれていた。武将がこの磯で力二を洗ってやったから、カニを洗うような波が絶えず打ち寄せるから、近くで採れる鮎物を洗う「金あらい」が転用されたから、など由来は諸説。

蟹洗海岸は国道6号の開通で環境が変化。遊休地活用として、昭和後期に魚粉加工工場、平成初期には温泉施設が建つなど、変遷を辿っている。

という。

海は観光にも貢献。町の南域延長十一キロの海岸は、兵庫県の舞子浜海岸に似た美しい「白砂青松」だったため、大正時代に「新舞子」と名付けられた。昭和初期にはキャンプやボートなどのレジャーで人気を集めた。

採用されるなど、にぎわいを見せた。だが、時代とともに状況は変わり、漁業も観光も下火となっていく。

こうした中、地域経済の活性化を図ろうと、漁網倉庫を改修して平成十三（二〇〇一）年に開設されたのが、「四倉ふれあい物産館」。

同施設は同二十二年七月に「道の駅よつくら港」としてグランドオープン。直後に東日本震災で大きな被害を受けたが、全国からのボランティア支援を受け、同二十四年八月に再開。地域復興のシンボルとしても歩み続けてきた。

■第一部終わり

（鷹）

2024年3月～ マルト各店で販売開始!

食の安全・安心。さらに、おいしい

初節句 雛祭り お祝いの席や贈り物に シーフードケーキ

皆様の幸運を招く 恵比寿様 大黒様

創作かまぼこ かねまん 本舗

https://www.kaneman.net/ 0120-17-3360

■ 電話・FAX・インターネットでも注文承ります。 ■ 本店営業時間AM8:00～PM4:00(年中無休)

■ 本店 福島県いわき市平下高久字下原83 TEL.0246-39-3360・FAX.39-3754

■ いわき・ら・ら・ミュウ店 福島県いわき市小名浜字辰巳町43-1 TEL&FAX.0246-53-7125

■ オンラインショップ www.kaneman.net インターネットでのご注文はこちら▶